



「みんなの地球のためにチャレンジ！カーボンニュートラルやまがた県民運動」について

令和8年5月19日
環境エネルギー部

山形県内の温室効果ガス削減率（第4次山形県環境計画より）

H25(2013)年度
〈基準年〉

R2年度
▲25.8%

R3年度
▲22.7%

R4年度
(2022)
▲27.7%

R12年度(目標)
(2030)
▲50%

R32年度(目標)
(2050)
▲100%

ゼロカーボン
やまがた
2050

1. カーボンニュートラルやまがた県民運動

(1) 概要

県民一人ひとりが身近なところから、できることからカーボンニュートラルに向けたアクションにチャレンジし、「豊かで美しい山形県」を将来の世代に継承していくための県民総ぐるみの運動

(2) 推進体制

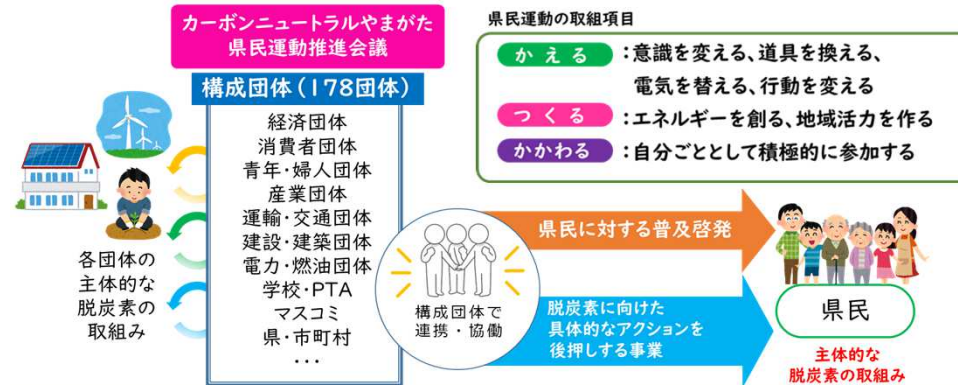
令和4年に、県民運動の推進組織として
「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議」を設立

(3) カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会

令和8年度は6月4日(木)に開催(於:ホテルメトロポリタン山形)



推進大会の様子(令和7年度)



2. 県民運動の主な事業（令和8年度）

かえる

①県民のCO2排出量の見える化等による脱炭素アクションの推進(通年)

拡充

- CO₂排出量可視化ツール「デカボMYスコア」を活用した県内イベント等での普及啓発を実施
- 脱炭素型ライフスタイルへの行動変容を促すための県民向けツアーやSNS等を用いたキャンペーンを実施



産業労働部と連携

③金融機関と連携した県内企業の脱炭素経営促進(7月~1月)

- 脱炭素経営の必要性やメリットを伝えるセミナーを開催
- 自社の脱炭素経営に向けた取組みを検討するための経営塾を金融機関との連携により開催



②省エネ家電買い換えキャンペーン(6月~12月)

家庭で使用している家電製品の買い換えのため、キャンペーン期間中に対象店舗で対象製品を購入した方に賞品を交付



④水素エネルギーの利活用に関する実証事業(6月~)

水素関連技術を用いた実証事業を支援し、水素の利活用を推進

⑥やまがた省エネ健康住宅(※)・再エネ設備パッケージ補助金(4月~1月)

年間のエネルギー使用量の収支をゼロとする住宅を新築するとともに、太陽光発電設備等を設置する場合、その経費の一部を補助

※「やまがた省エネ健康住宅」

最も寒い時期の就寝前に暖房を切って翌朝暖房を稼働させない状況でも 室温が10℃を下回らない断熱性能と気密性能を持つ住宅

県土整備部と連携

⑦山形県住宅用太陽光発電設備（自家消費型）導入事業費補助金(4月~1月)

新規

既設のやまがた省エネ健康住宅等へ太陽光発電設備を導入する場合、その経費の一部を補助

つくる

⑤やまがた未来くるエネルギー補助金(4月~11月)

家庭や事業所が再エネ等設備を導入する場合、その経費の一部を補助

- 補助対象設備:
蓄電池設備、木質バイオマス燃焼機器、地中熱利用空調装置・融雪装置



かかわる

教育局と連携

⑧小学生向け学習教材の配布(7月~)

脱炭素化の取組みをわかりやすく解説したガイドブックを作成・配布

⑨カーボンニュートラル標語・ポスターコンテスト(6月~9月)

「カーボンニュートラル実現への思い」を表現した標語やポスターを募集



⑩若者向け環境SDGsワークショップ等の開催(6月~)

県内の中学校以上の生徒、学生等を対象としたワークショップ及び活動発表会を開催



⑪学生環境ボランティアによる普及啓発(6月~)

県内の大学生等を学生環境ボランティアとして登録し、イベントへのブース出展や出前講座を実施

⑫やまがた脱炭素ドミノ推進勉強会(7月~)

先進的・効果的な脱炭素施策に取り組む市町村等と連携し、県内における横展開を図るための、足掛かりとなる勉強会を開催